



買い物はマイバッグで

～10月からレジ袋の無料配布とりやめ～

日常生活の中でのちょっとした配慮が地球温暖化防止につながります。レジ袋の使用を控え、資源を大切にするなど、皆さん一人ひとりにできることを考えてみませんか。

レジ袋は全国で年間約300億枚使用されていると言われています。レジ袋の使用を控えれば、レジ袋の原料となる原油の消費を大幅に削減することができます。

東部・中部・西部の「ノーレジ袋推進協議会」では、レジ袋削減に向けて取り組んできました。今年4月には、東部の10事業者46店舗と消費者団体、行政などが、レジ袋削減推進に関する協定を締結しました。東部1市4町のスーパーマーケットを中心に、**10月1日からレジ袋の無料配布はとりやめとなり、レジ袋が必要な場合は1枚5円で販売されます。**

日々の買い物は、環境問題と密接に結びついています。マイバッグを利用するほかに、次の点に気を付けて買い物をしよう心掛けましょう。

必要なものだけを買う

弁当を買うときは、割り箸をなるべくもらわないようにし、自分の箸を使う

できるだけ簡易な包装のものを買う

詰め替え商品を選ぶ

《無料配布をとりやめる事業者と店舗数》

岩美町では(株)サンマート、トスク(株)でレジ袋の無料配布を行いません。

※とりやめるのは東部（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）の店舗のみ

- イオンリテール(株)中四国カンパニー（3店舗）
- (株)エスマート（8店舗）
- (株)サンマート（9店舗）
- 大黒天物産(株)（1店舗／ラ・ムー）
- (株)天満屋ハピーマート（1店舗）
- トスク(株)（12店舗）
- (株)戸信（2店舗／ダンクショップ）
- (株)マルイ（3店舗）
- (株)マルワ渡辺水産（4店舗）
- (有)森フードセンター（3店舗／湖山ストア、ジョイス）

問い合わせ先

環境水道課

☎73-1567